

和歌山病院での研修を終えて



植田 昇太

1ヶ月間和歌山病院にて研修させていただき、大学病院では研修できない様々な経験を積むことができました。まず初めに、ご指導いただく機会の多かった東先生には感謝してもきれないほどの思いでいっぱいです。研修初日から胸腔ドレーンを挿入する機会を与えていただいたり、その後も手技の機会があれば声かけていただきました。中心静脈カテーテル挿入や胸腔穿刺、気管支鏡検査など丁寧にご指導いただき、経験を積むことができました。また診療に困った際には、いつもすぐにご相談させていただき、アドバイスをいただきました。

最終日の気管支鏡検査でご指導いただいたことは一生忘れません。

南方病院長には胸部画像の読影についてわかりやすく論理的に説明していただき、今後の医師人生において大きな武器を手に入れることができました。また、もちろん困った時にはサポートもいただきながらも主に一人で外来診療をする機会を与えていただき、患者と一対一で向き合う外来診療の難しさを勉強させていただきました。

そして今回の研修で初めて結核という病気に触れることができ、実際に診断や治療、感染対策など勉強することができました。また呼吸器内科で担当していた気胸の患者が再発し、外科入院になった際、他科の研修医にも関わらず担当させていただき、手術にも入らせていただいたことは非常に良い経験でありました。

先生方だけではなく、看護師さんやコメディカル、事務員の方にも非常にお世話になりました。特に医局の美人秘書さんには毎日優しく声をかけていただき、悩んでいる時は良いアドバイスをいただいたりと研修生活がスムーズに送れるようにサポートしていただきました。また院内のボーリング大会に南方病院長と同じチームで参加させていただき、団体3位になり、個人的にも商品をいただいたことは良い思い出になりました。

最後になりましたが、研修中お世話になりました南方病院長はじめ、和歌山病院の先生方、研修期間中に僕の栄養面で支えていただいた「かまどや」「丸亀製麺所」「吉野家」「うなぎの川常」「餃子の王将」「ネパール料理のラクシュミー」「幕末ラーメン」、疲れた身体を癒してくれたスーパー銭湯「宝の湯」、魔法を使えるようになったドクター、美浜町の北川景子、美浜町の坂口憲二、美人秘書さん、すべての方に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。